

[企画展]

平成 25 年度入間市市民提案型協働事業

ヴォーリスと武蔵豊岡教会展



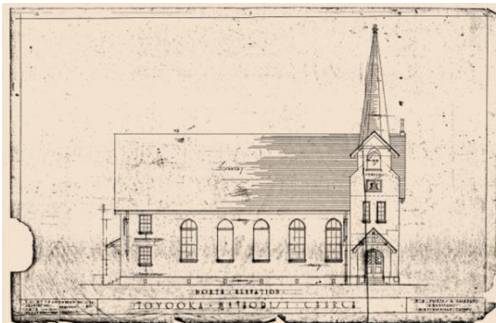
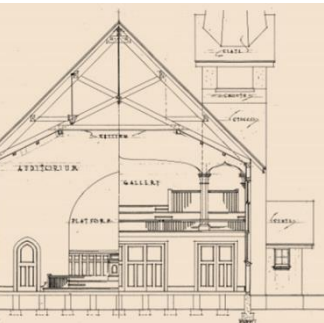
W.M.ヴォーリス 1880-1964

2013.5.19 ~ 5.26 (SUN) (SUN)

献堂式当日の様子



礼拝堂内 (石川製系の女工たち)



大正から昭和の時代に日本全国で活躍した米国人建築家W.M.ヴォーリス(1880年~1964年)は、戦前だけでも1,500件余りの建築を手がけたと言われます。彼は、教会建築や学校、オフィスビルなどの大きな建築ばかりでなく、住宅や別荘など幅広く手がけ、当時の生活のスタイルなどにも影響を与えました。

彼は商人の町で知られる滋賀県の近江八幡を拠点として全国を飛び回り、彼の目指すユートピア実現のために精力的に活動しました。一柳満喜子と結婚し、1941年に帰化して日本人となり一柳米来留(ひとつやなぎ めれる)と名乗りました。

私たちの生活の身近なところでは、現在の近江兄弟社の創業者の一人としてメンソレータム(現メンターム)を広く日本に普及させた実業家としても知られています。

そのW.M.ヴォーリスが設計した教会堂が入間市河原町に建っている日本キリスト教団武蔵豊岡教会の建物です。しかも、彼の設計による埼玉県内で唯一のもので、1923(大正12)年に献堂式が行なわれていますから今年でちょうど築90年となり、歴史的にも貴重な文化遺産となっています。その献堂式の関係者招待リストにはカタカナで「ボーリス」と書かれています。

現在、河原町の交差点付近では国道16号拡幅に伴う区画整理の工事が行なわれていますが、武蔵豊岡教会もその影響を受け、年内に教会堂の曳家工事が行なわれる予定です。今年は教会にとって大きな変化のある年となります。

この機会に、武蔵豊岡教会とそれを設計した建築家W.M.ヴォーリスとにスポットを当て、当時の写真や図面、記録、出版物などを通して、入間に残っている貴重な文化遺産を身近に感じる企画展を開催します。

【日時】平成25年5月19日(日)~26日(日)
10:00~19:30(最終日17:00まで)
19(日)14:00より オープニングイベント

【会場】丸広百貨店入間店 1階エントランスホール

【入場料】無料

【協力】日本キリスト教団武蔵豊岡教会
入間市博物館・丸広百貨店入間店

【問合せ】・FAX:04-2962-3424(石川洋行内)
・メール: iruma_ikasukai@yahoo.co.jp

【主催】

入間市の文化遺産をいかす会

